

2009年度 都道府県フットボールセンター整備助成金 交付内定計画一覧

県名	申請者	助成対象事業 要望額 (千円)		要望額 合計 (千円)	過去の 助成金	評価	最終 評価
奈良	(社)奈良県 サッカー協会 (田原本町)	人工芝	45,000	75,000	-	廃校を活用した計画。県の「普通財産」を借り受け、人工芝・照明・クラブハウスを奈良FAが整備・運営する。「公の施設」でないため、奈良FAが自由に使える施設となる。過去の施設整備助成金の交付実績もなく、条件も整っているため、 <u>土地所有者との年間賃借料及び空き校舎の今後の利活用方法等の最終調整を含めた運営計画の再検討を条件</u> とし、採択とする。	採択 条件付き
		照明	15,000				
		クラブハウス	15,000				
山口	山口市 (山口市)	人工芝	45,000	75,000	-	同じく廃校を活用した計画。自治体の「公の施設」として山口市が施設を整備するが、山口FAが優先使用できる。ピッチサイズが103m×66m(+3m)と若干小さい(105m×68m(+5m))を推奨)が、計画地から北に15分ほどのところにクレーのグラウンドがあり、その施設を含め、計2面を一体的に活用できる。過去の施設整備助成金の交付実績もないことから、 <u>クレーのグラウンドの芝生化等を含めた運営計画の再検討を条件</u> とし、採択とする。	採択 条件付き
		照明	15,000				
		クラブハウス	15,000				
宮城	(社)宮城県 サッカー協会 (松島町)	天然芝	45,000	56,000	60,000 仙台市	同じく廃校(私立)を活用した計画。グラウンド2面・無床体育館を有する松島町の「普通財産」を借り受け、宮城FAが整備・運営する。「公の施設」でないため、自由に使える施設となる。宮城県では、過去に仙台市が60,000千円の助成金を受けて人工芝グラウンド1面を整備し有効活用しているが、更に、グラウンド2面を確保でき、なおかつ宮城FAが自由に使える当施設が、特に県下の技術の拠点として活用されることを評価し、採択とする。	採択
		人工芝					
		照明	11,000				
交付内定額合計				206,000			

計画概要(奈良)

奈良

計画概要

申請者	(社)奈良県サッカー協会
要望額	75,000千円
計画内容	人工芝/照明/クラブハウス
計画場所	田原本町

事業スキーム

- 土地 ● 奈良県
- 資金 ● 奈良県 ● 奈良FA
- 工事 ● 奈良FA
- 所有 ● 奈良FA
- 運営 ● 奈良FA







計画概要(山口)

山口

計画概要

申請者	山口市
要望額	75,000千円
計画内容	人工芝/照明/クラブハウス
計画場所	山口市

事業スキーム

- 土地 ● 山口市
- 資金 ● 山口市
- 工事 ● 山口市
- 所有 ● 山口市
- 運営 ● 山口市 ● 山口FA







計画概要(宮城)

宮城

計画概要

申請者	(社)宮城県サッカー協会
要望額	56,000千円
計画内容	天然芝/人工芝/照明
計画場所	松島町



事業スキーム

- 土地: 松島町
- 資金: 宮城 FA
- 工事: 宮城 FA
- 所有: 宮城 FA
- 運営: 宮城 FA

